



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和5年7月21日 第5号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

野口英世記念館

校長 藤井 衛

6年生と福島県へ修学旅行に行ってきました。金井小学校としては4年ぶりとなる島外への修学旅行でした。参加児童60名、欠席者が1名もいなかったことが何よりうれしいことでした。

たくさんの思い出ができましたが、私が一番印象に残ったのは、最後に訪れた「野口英世記念館」です。野口英世さんは千円札にも描かれている有名な人物です。記念館のとなりには、令和4年にオープンしたばかりの「感染症ミュージアム」がありました。新型コロナウイルス感染症に関する情報もあるため、外国人の観光客も多く見学していました。

私たちは、新型コロナウイルス感染症という目に見えないウイルスとのたたかいを経験し、あらためて感染症の怖さを知りました。このミュージアムを見学すると、人類が長い間感染症とたたかってきたことが分かりました。100年以上前にも全身を防護服でおおい、命がけで治療にあたっている人々の姿がありました。これまでに根絶されたウイルスもありますが、すぐまた新しいウイルスが出現し、感染症とのたたかいは終わることがないのだと思いました。野口英世さんも最後は自分が研究していた「黄熱病」にかかってなくなっています。これからも感染症から自分の体を守っていかなければなりません。

ところで、野口英世さんは赤ちゃんのころ、囲炉裏（いろり）の火に手をつっこんでやけどをしてしまいました。指が焼けてくっついたままになってしまったのです。その時は、お金がなくて病院にもいけませんでした。15歳の時、手術によって、5本の指が広がり使えるようになりました。野口英世さんはこのことに深く感激し、医者になりたいと思ったのです。

人は、目標を見つけた時にがんばることができます。みなさんにも目標があると思います。「テストで100点をとりたい」「大会で優勝したい」「ダンスがうまくなりしたい」「25メートル泳げるようになりたい」など、どんな目標でもよいのです。目標がある人と、目標がない人ではがんばることに差が出ます。

長い夏休みが始まります。何か目標を見つけてがんばれる人になれるといいですね。

